

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成20年10月27日（月） 15：30～17：00

ところ：市役所2階 第1会議室

団 体：子育てサロンスタッフ（11人）



【団体】

子育てサロンは、平成11年から三城地区センター、平成12年から西地区センター、平成13年には赤坂地区センター・青年の家でそれぞれ始まり、市内6か所で開催されています。

保育園に入園する前の子どもを持つお母さん方は孤独で、家にこもりがちになりますので、子育てに悩み虐待などをしてしまう方もみえます。私自身も、大阪から引っ越してきました、友だちや知りあいのいない所での子育ては孤独でした。自分の子育てが一段落したところで、このサロンのお話をいただきましたのでお受けさせていただいたのですが、自分の子育てのときに「こんな場所があったらよかったなあ」と思います。

【団体】

安井地区センターでコーディネーターをしています。安井地区は昨年7月にオープンし、一番新しいところです。住宅やアパートが多いため、保育園に入れない子たちが多く来てくれます。オープン当初は200人くらい入られて、身動きができないくらいで、お母さんたちが、こういう所を求めていることを改めて感じました。

他にもサロンがあると分かったお母さんたちは、自分の都合のよい曜日に開催して

いるサロンに行かれるようになり、このごろは、毎回１００人くらいに落ち着いてきました。それでも、子供たちが遊ぶためには、ジャングルジムなど遊具などが足りないもので、増やしていただけるとありがたいです。

【団体】

それぞれの地区センターの運営方法がありますが、サロンが間借りしているような状況ですので、地区センターの方に迷惑がかかることを心配しながら開催しています。

先日も、カーペットを替えたばかりで、子供たちが汚さないかどうか心配で、気を使いながら見えています。

また、「なぜ、子育てサロンは無料なのですか」という質問や、１か月で５００円とか料金を取ってもいいのではという意見もあります。必ずしも無料で利用したいと思っている方ばかりではないということが分かりました。あばあちゃんたちが連れてくるときがありますが、若い人が無料で何でもしてもらおうという考えになってしまいますので、有料にしてもいいのではないかという意見もありました。

【市長】

小さいお子さんを世話されていると、それぞれご苦労がありますね。ビニールシートをひいては冷たいですから、難しいですね。

子育て日本一を進めるために、核家族で孤独の中、子どもを育てる方がみえますので、同じ境遇のお母さんたちが集まって、みんなで子育てをして行こう。あるいは親同士が相談しながら子育てをできる環境を整備していこうということで、子育てサロンを開設しています。コーディネーターの方々にいろいろ教えてもらったりして、子育てを支援させていただいています。

有料化の話ですが、場所を借りるための料金程度でしたら、いただいてもいいかもしれませんが、途中から有料にするのは難しいですし、有料にすれば、求められるサービスも変わってきますし、現状でできるサービスを無料で提供できるのがいいと思っています。

【団体】

綾里・赤坂・青年の家の３か所で、水・木・金曜日の週３回コーディネーターを務めさせてもらっています。私自身も３人の子を持つ親ですが、初めての子を出産したときは子育てサロンはありませんでしたのが、２人目のときには三城地区センターのサロンを利用させていただき、大変助かりました。

保育園とはちがい、親子が触れ合い、一緒に遊ぶ場所であるはずが、このごろは私

たちスタッフに任せてしまうというような状況になってきており、保育園の前身のように考えているお母さんたちが増えてきました。

【市長】

保育園に預けたような気になっているのですかね。コーディネーターの方たちにお任せする場所ではないですからね。どちらかというと、公園のようなところにしたいといけませんね。逆に、コーディネーターの方がいるから甘えてしまうということもあるのかもしれませんがね。無料で集まり、相談や悩みを打ち明けあったり、助け合うところがいいところですので、無料がいいですね。

【団体】

赤坂・綾里では100人以上集まり、青年の家も50人くらいだったのが、80人くらい集まるようになりましたので、ちょっと手狭になってきています。2、3歳くらいの子どもは動きまわりますので、もう少し大きな会場がいいと言われます。

【市長】

広いところというと公園などですが、大垣市では花と緑のまちづくりを進めるなかで、公園をいろいろなところにつくっているんですが、意外と公園の利用者が少ないんですね。もっと、たくさんの子どもたちが遊んでもらえると思っていたんですが、ちょっと残念な状況になっています。

【団体】

毎週火曜日に墨俣の老人福祉センターで開催しています。墨俣は児童館もあり、利用者が少ないときもありますが、毎回来てくれる方もみえます。

第3火曜日にはおもちゃのお医者さんがスタッフとして参加してもらい、遊んでいるあいだにおもちゃを修理してくれていますので、物を大切に作る心も養ってます。

また、第2子、3子を考えているお母さんたちの間では、産婦人科が少ないという声があり、心配している方もみえます。

【市長】

大垣市民病院の産婦人科には8名の医師がいますので、安心して産んでいただけたと思います。

【団体】

三城地区センターでコーディネーターをやらせてもらっています。息子が白血病と

診断され、お兄ちゃんを助けようと2歳の次男がドナーになり、家族みんなで助け合ってきましたが、5歳3か月で亡くしました。しばらくは何もする気が起きなかったんですが、1年後から当時の日記を読み返し、みなさんに発信する機会をいただきましたので本を書きました。NHKの方からも声をかけていただきテレビにも出演する機会をいただきました。その頃、子育てサロンのお話もいただき、私の息子が導いてくれたような気がしています。

サロンでは、お母さん方に私の家庭の話をしたりして、子供の大切さや命の尊さを改めて感じてもらっています。中には自分の抱えている悩みが小さなものであると思っていただいたりする方もいらっしゃいます。また、お母さんが働いており、お爺ちゃんやお婆ちゃんが孫の面倒を見るために訪れる方も多くいます。

三城地区センターでは最高で169名の方が利用されたことがあり、入りきれないほどでした。その時には遊具も足らない状況でしたので、ボールプールなどを増やしていただけるといいと思います。

【団体】

保育園の入園のことについてですが、順番取りに前日の昼から並んでいるという噂が広がり、だんだんエスカレートしているのではと思います。3人目0歳児の保育料が無料になったこともあり、仕事をしていない方が「ただだから入園させたよ」という声があります。逆に、仕事に復帰したいけど、空きがないので入園させれずに困っている方もみえますので、無料で入園できる方々の審査などは、面接などして慎重にやっていただきたいと思います。そうしないと、子育てを支援しているのではなく、お母さんたちの子育てを放棄させてしまうことになってしまうと思います。

【市長】

そうですね、必要性に応じて考えないといけないですね。子育て支援のための施策が、子育て放棄をさせてしまっているということでは困りますね。

【団体】

西地区センターで4年ほどボランティアをしています。この頃感じているのは、深刻な悩みを持ったお母さん方があまり来ていないと思います。本当に深刻な悩みを抱えている方は子育てサロンにはなかなか来れないのではないかと思います。以前、悩みを抱えた方が1回見えましたが、その後来ることがありませんでした。来られない方の家を訪問するなどのボランティアシステムがあるといいかなと思います。

【市長】

悩みのある方ほど来てもらって、相談していただけるといいですが、そうではないのですね。

【団体】

印象に残っているのが、子供を叱りながら泣いているお母さんがおり、子供さんは傷だらけの状態でした。コーディネーターの先生が、何度もアドバイスをされていくうちに、お母さんも落ち着かれ、子供も明るくなっていきました。また、最初、暗い顔をして来ていたお母さんが、どんどん元気になり、それに合わせて子供もののびのびと遊べるようになっていく姿を何回も見ています。実際に、後から「救われました。」などとお礼の言葉をいただくこともありますので励みにもなります。また歩けなかった子が歩いたり、走ったりできるようになる姿を見ているのがうれしくて続けていきます。

【市長】

お母さんたちの悩みが解消できる場になればありがたいですね。乳幼児医療費の無料化や保育料の引き下げなど経済的負担を考えてしまいがちですが、コミュニケーションの場を提供するなど、心の負担を軽くしてあげることも大切ですね。そのPR方法も考えないといけませんね。

【団体】

来れない人、またサロンを知らない人などのために、スーパーへ買い物に行った時などには、小さな子供を連れたお母さんたちに声をかけ、サロンに来てもらうようにPRしています。

【団体】

地区センターでの開催時に、階段の手すりの幅が広く子供の頭が入りそうで危険という指摘がありました。その対策をしないといけませんので、市役所で相談したところ、他のサロンで備品として認めてないから難しいと言われました。開催場所によって危険な箇所は変わりますので、臨機応変に対応してもらいたいと思います。

サタパパサロンでは講師の先生を招いて開催していますが、参加者が少ないです。子育てサロンと同時に開催して講師の先生を招いてもらえると、より多くの方にお話を聴いてもらえると思います。

【市長】

事故があってもいけませんので、備品をそろえないといけませんし、お父さんもお母さんも参加してもらう同時開催にするのもひとつの方法ですね。

いろいろと皆様のご苦勞やご意見を聴かせていただき、経済的支援も大切ですが、親子がコミュニケーションよく、子供がすくすくと成長してもらえる環境を提供する精神的支援も大切であることを改めて感じました。今後も、市内全地区にサロンを開設できるように、子育て支援策を充実させていきたいと考えています。